



新たな「CLTパネル工法用金物」 の規格化について

当センターでは、平成28年8月22日付で「CLTパネル工法用金物規格（ \times マーク表示金物）」を制定し、承認した接合金物5工場及び接合金具5工場から生産・供給を行っています。

今回、(一社)日本CLT協会のご要望を受けて、新たに \times マーク表示金物を図1のとおり6種類を追加しました。

これらの接合金物と既に規格化した接合金物を使用することによって、図2の内壁面の裏面のとおりCLTパネルを全面現して納めることができます。

新たに追加した接合金物等の詳細は、当センターHPで確認することができます。

\times マーク表示金物は、CLTパネルを用いた建築物の高さ ≤ 13 m、軒高 ≤ 9 m及び階数 ≤ 3 を許容応力度計算で行う場合、CLT告示の技術基準に適合した接合金物として使用することができます。

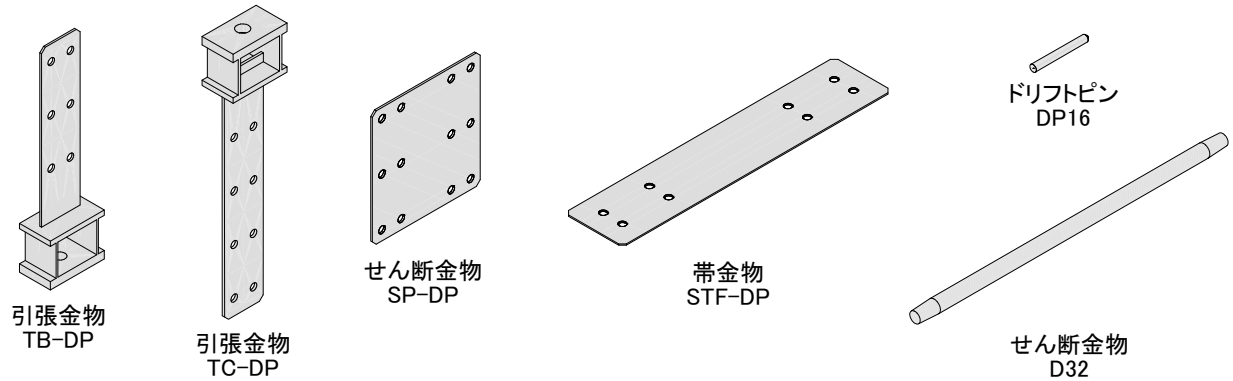


図1 新たに規格化した \times マーク表示金物

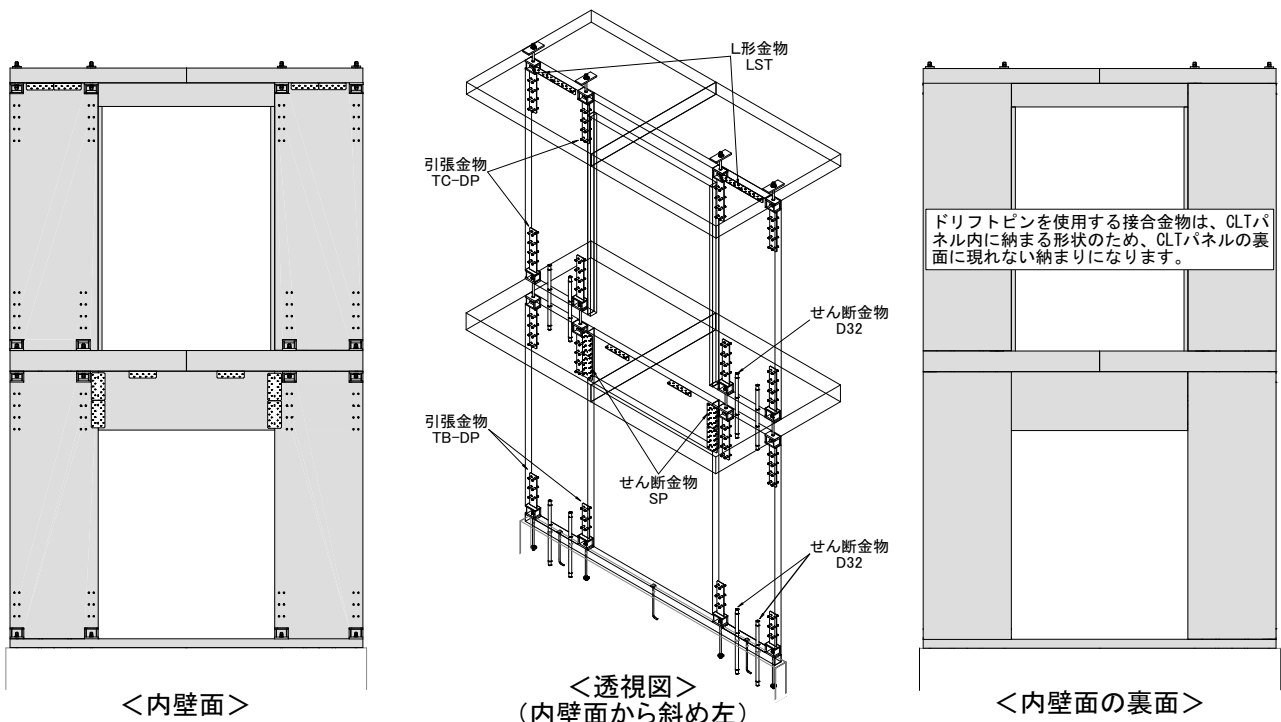


図2 内壁面とその裏面の接合金物の納まりの例